



【う め】\*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

**病害虫防除** 農薬の収穫前日数を遵守しましょう。

5月上旬

- カイガラムシ類 アプロードエースフロアブル 1,000倍 収穫7日前 2回 100ml/水100㍓又は  
モベントフロアブル 2000倍 収穫7日前 3回 50ml/水100㍓
- 黒星病・すす斑病 スコア顆粒水和剤 3,000倍 収穫前日 3回 **33g**/水100㍓

5月中旬～下旬

- 黒星病・すす斑病 アミスター10フロアブル 1,500倍 収穫前日 3回 66ml/水100㍓ 又は  
パレード15フロアブル 2,000倍 収穫前日 2回 50ml/水100㍓

**収 穫**

梅酒用：大きい果実から順次収穫し収穫後の直射日光は避けましょう。

漬梅用：青みが抜けた大きいものから順次収穫しましょう。

【キウイフルーツ】\*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

**病害虫防除**

5月上旬 花腐細菌病 環状はく皮

蕾白化期（がく割れ）5月1日頃に主幹に4～5.5mm幅で行いましょう。

5月中旬（開花前）

- カイガラムシ類 アプロードエースフロアブル 1,000倍 収穫前日 1回 100 ml/水100㍓  
キウイヒメヨコバイ

**摘 蕾** 5月上旬～中旬

早期に側花や変形花を除去し、受粉効率と初期肥大を良くさせます。

5月の強風を考慮して花数の調整をしましょう。

**人工授粉** 5月中旬～下旬

石松子を使った受粉 5～10倍 開花2～3日までに受粉しましょう。

溶液受粉 250～300倍 希釈してから2時間以内に使い切りましょう。

【温州みかん】\*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

**病害虫防除** 5月中旬～下旬

○灰色かび病・そうか病

フロンサイドSC 2,000倍 収穫30日前 1回 50 ml/水100㍓ 又は

ストロビードライフロアブル 3,000倍 収穫14日前 3回 33g/水100㍓

○コアオハナムグリ モスピラン顆粒水溶剤（劇） 4,000倍 3回 収穫14日前 25g/水100㍓

そうか病発生園ではフロンサイドSCを散布しましょう。\*かぶれには注意しましょう。

**夏肥施用** 5月下旬

みかん配合 200kg/10a（吸収率を高めるため 6月中旬と2回に分肥すると効果的）

施肥後、軽く中耕します。反射シート被覆のため秋肥が施用できない場合は夏肥を多めにしましょう。

葉面散布 樹勢が低下している樹では尿素600倍を散布し、樹勢の回復を図りましょう。

【中晩柑】\*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

病虫害防除 5月中旬～5月下旬

○灰色かび病 ストロビードライフロアブル 3,000倍 収穫14日前 3回 33g/水100ℓ

※灰色かび病防除は満開から落弁期にかけて散布します(多発園は2回)

○コアオハナムグリ モスピラン顆粒水溶剤(劇) 4,000倍 収穫14日前 3回 25g/水100ℓ

湘南ゴールド・はるみ(かいよう病に弱い品種) 5月中旬～5月下旬

○かいよう病【単用散布】

コサイド3000 2,000倍 50g/水100ℓ

+ クレフノン 200倍 500g/水100ℓ (薬害軽減のために加用する)

※マシン油散布とは2週間以上あける

湘南ゴールド、はるみ、レモンは、かいよう病に罹病しやすいので薬剤による防除をしましょう。

栽培管理・樹勢強化

葉面散布 5～8月に不知火・はるみの樹勢強化を目的に尿素600倍の葉面散布を行いましょう。

はるみは、着花量が多いと樹勢の低下につながります。

はるみ、不知火は上部1/3～1/4を摘蕾や早期摘果をし、樹勢の強化を図りましょう。

【水 稲】

育苗箱施薬剤 育苗箱施薬は本田への防除軽減のために必要な防除です。必ず散布しましょう。

イネミズゾウムシ  
イネドロオイムシ  
ウンカ類  
ツマグロヨコバイ  
いもち病  
紋枯病  
白葉枯病

エバーゴルフオルテ箱粒剤  
播種時(覆土前)～移植当日 1回 育苗箱1箱当たり50g

・「いもち病」や初期の害虫、「紋枯病」に高い効果を発揮します。浸透移行性に優れ、長い残効性があります。育苗箱処理でその後の防除が省け、防除回数の低減が可能です。

注) 育苗箱施薬剤と除草剤は区別して保管しましょう。

病虫害防除 水田入水後、貝の活動が活発になり始めたら散布しましょう。被害発生前に早めに散布するようにしましょう。

○スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)

スクミノン 1～4kg/10a 湛水散布 (収穫60日前まで 2回以内)

スクミンバイト3 2～4kg/10a 湛水散布 (使用回数・使用時期制限なし)

基肥一発型肥料

速効性肥料と緩効性肥料が入った、追肥のいらぬ省力型肥料です。

生育に合わせ窒素成分が供給されるため、利用効率が高まります。側条施肥にも適しています。

※ただし、天候や生育状況により追肥が必要になる場合もあります。

てまいらず464ネオ・スーパーナイスワン 30～40kg/10a

(栽培条件に応じて適宜増減してください)

キヌヒカリ、さとじまん、はるみ、てんこもりに使用できます。

農業を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

~~~~~お知らせ~~~~~

## 令和4年産米穀出荷契約（申し込み）をお願いします！

令和4年産米の出荷契約申込み受けを開始いたします。昨年度出荷された方には契約書類一式を郵送いたしますので、契約をお願いいたします。

なお、新規で契約される方は最寄りの営農経済センターまでお問合せください。

全国では米の需要量が減少し、令和3年産米の価格は大幅に下落しています。しかし、神奈川県では全国とは状況が異なり、県内の学校給食用米がまだまだ足りていない状況です。子ども達のため、県内産米の価格維持のため、1袋でも構いませんので是非とも出荷を検討いただき契約をお願いいたします。

提出期日：令和4年5月20日（金）

提出先：最寄りの支店

※期日を過ぎてからの契約数量の変更はできません。

※提出期日を過ぎた場合は、「出荷契約外米」の扱いとなり精算金のお支払いに1年以上を要します。事前の出荷契約申込みをお薦めします。

## ～土壌診断しませんか？～

作物を正常に生育させるためには、土壌中の養分状態を作物の要求する量に調節するとともに、他の成分とのバランスをとらなければなりません。そのためには、土壌の不足する養分と過剰な養分を把握する「**土壌診断**」が必要です。

より良い作物を栽培するために当JAでは土壌診断を推奨しています。

料金：1サンプルにつき 632円(税込)

結果通知：サンプル提出後約1か月後(混雑状況により遅くなる場合もあります)

土壌診断の適正な実施時期は基本的に作付前(施肥前)または、収穫後になります。

サンプル袋は成田営農経済センターにてお渡しします。

ご不明な点等は成田営農経済センターまでお問合せください。

TEL：38-0131

## スクミリングガイ（ジャンボタニシ）の収集について

成田営農経済センターにて下記の日程で貝の回収を実施いたします。

スクミリングガイを発見した場合は捕獲をお願い致します。

1. 収集日 令和4年6月6日（月）・13日（月）・20日（月）・27日（月）  
7月4日（月）・11日（月）・19日（火）・25日（月）  
8月8日（月）・22日（月）  
9月5日（月）・12日（月）

2. 収集時間 8時30分～12時

※時間に間に合わない場合は成田営農経済センターにご連絡ください。

3. 収集場所 成田営農経済センター

住所：小田原市成田802-1 TEL：0465-38-0131

### 【注意事項】

・スクミリングガイには寄生虫（広東住血線虫）がいる場合があるため、捕獲の際はゴム手袋を着用し素手では触らないようにしましょう。

- ・個別回収は行いませんので、収集場所への持込をお願いします。

### 【お願い】

- ・持込の際は、水分をよく切ってから袋に入れ、袋の口をしっかりと閉じて持ってきて下さい。
- ・発生水田では捕獲と薬剤（スクミノン、スクミンベイト）併用での対策を図って下さい。
- ・畦畔等に生み付けられた卵塊を発見した場合は、潰して下さい。
- ・水田の水口、水尻にネットを取り付け、水田内への侵入や隣接する水田への被害拡大を防いで下さい。
- ・発生水田は冬季に耕うんを必ず行い、土中で越冬している貝を潰して下さい。

## スクミリングガイ（ジャンボタニシ）駆除農薬購入助成金のご案内について

当センター管内で発生が多発している「スクミリングガイ」について対策として駆除剤購入者に対し助成しますので、ぜひご利用ください。

1. 申請期間：令和4年4月1日（金）～令和5年2月28日（火）まで
2. 購入費用（税抜）の1/2以内を助成します。

| 項目                   | 助成内容                     | 助成率    |
|----------------------|--------------------------|--------|
| スクミリングガイ<br>駆除剤購入費助成 | スクミリングガイ駆除<br>の為の薬剤購入費助成 | 1/2 以内 |

### 【申請方法】

薬剤購入後、以下の書類の提出をよろしくお願いいたします。

- ①地域農業応援プログラム申請書
- ②申請書宛の領収書の写し
- ③（補助金等がある場合）本事業と併用する補助金・助成金等の受領書・入金通知書等
- ※申請書はセンターにてお渡しします。